

WRAPを取り入れた精神科訪問看護 ステーションの実際と看護教育

精神障がい者のリカバリーに焦点をおいた活動として、WRAP (Wellness Recovery Action Plan) が世界的に注目されています。WRAPは、精神的な困難を抱えた人たちが自らの健康を保つための知恵や工夫を基に作成したセルフヘルプのツールです。本企画では、WRAPの理念を取り入れた精神科訪問看護ステーションの新たな取り組みと教育を紹介し、地域精神看護実践と看護教育のあり方についてディスカッションしたいと思います。

シンポジスト

1. 進あすか 先生 (訪問看護ステーションみのり 統括管理責任者)
「WRAPを精神科訪問看護ステーション運営に導入した経緯」
 2. 小瀬古 伸幸 先生 (訪問看護ステーションみのり 精神科認定看護師)
「WRAPを取り入れた精神科訪問看護実習の実際」
 3. 高橋 篤信 先生 (宝塚大学看護学部 精神看護学助教)
「WRAPを取り入れた精神科訪問看護の看護教育への導入と評価」
- 司会 長谷川 雅美 (金沢医科大学看護学部長 精神看護学教授)

日 時:2016年1月9日(土) 13時~15時

場 所:大阪医科大学 看護学部講堂

参加費:会員無料、非会員1,000円(資料代として当日お支払いください)

<参加申し込み>

事前申し込みにより受け付けます。①氏名、②所属、③会員または非会員を明記の上、事務局アドレスまでメールでお申し込みください。

シンポジウム事務局アドレス japmhn.edu@gmail.com

申し込み締め切り 1/5(火)まで (先着100名)

※個人情報適切に管理を行い、本シンポジウムに関するご連絡にのみ使用します。
※お問い合わせは、シンポジウム事務局までお願いします。

● 交通アクセス



• 電車をご利用の場合

JR東海道本線(JR京都線)「高槻」駅下車 南口より徒歩8分
(南口を出てすぐの階段を下りてJRの線路に沿って直進)
阪急京都線「高槻市」駅下車出口①よりすぐ

• お車をご利用の場合

八丁畷交差点→京都方面に向かって左折→セブンイレブン
左折→大阪医科大学北門
大阪方面に向かって右折 立体駐車場(有料)利用